

実はドMのお母さんを

友人に貸し出したら？

は、はひいっ♡ごめんなさっ♡い
とっていいですっ♡とっていい
から怒らないでっ♡はあああ

ただめじやないだろおっ?
こらせろっ♡たっ♡せろお!!!

らっ♡おらっ♡
もちいいかババア♡

飲み物に催淫剤。古典的な手法。
アールグレイにひとさじ垂らすポーションの
人工的な口当たりは、ぼやぼやしている母は
絶対に気づかないと確信があった。

母を抱きたいと思って5年が経つ。
異常な欲望だとは知りつつ、もう止められない。

効果はてきめんだった。あまりにもスムーズに
物事がうまくいくことは僕の人生でこれまで
何一つなかっただけにこの行動にはいくつかの
教訓が含まれていたように思う。

羅列するに①何事も思い切りが大事②積年の
想いはいつか叶う③自分の母親はあまりにも
ちよろい。

母は顔を真っ赤にして席を立つ。目はうつろに
なり、足取りもふらふら危なっかしい。
支える為、腰に添えた手が高い体温を感じる。
母は唇を震わせる。母の喉に重い唾が下りてい
くのがわかる。濡れた瞳を覗いて確信する。

母は抱かれたがっている。それも手ひどく。

出張中の父にかわり、僕がその役目を果たそう。
頭の奥から愉快的な笑いが押し寄せてくる。
おかしくておかしくてたまらない。



ああっ♥かあさんっ♥
おかあさん♥ああん♥
きもちよかつたよお♥

あははっ♥これでっ♥これ
お母さんはっ♥お母さんは
俺だけのものだあ!♥♥♥

クッ
クッ
クッ

あらだめだっ♥ボツキ
とまんね♥もういっかい
マンコ貸して♥ね♥

うっ♥うっ♥
うめ♥うめ♥

お、お母さん
おはよう……♡

……っ！
///

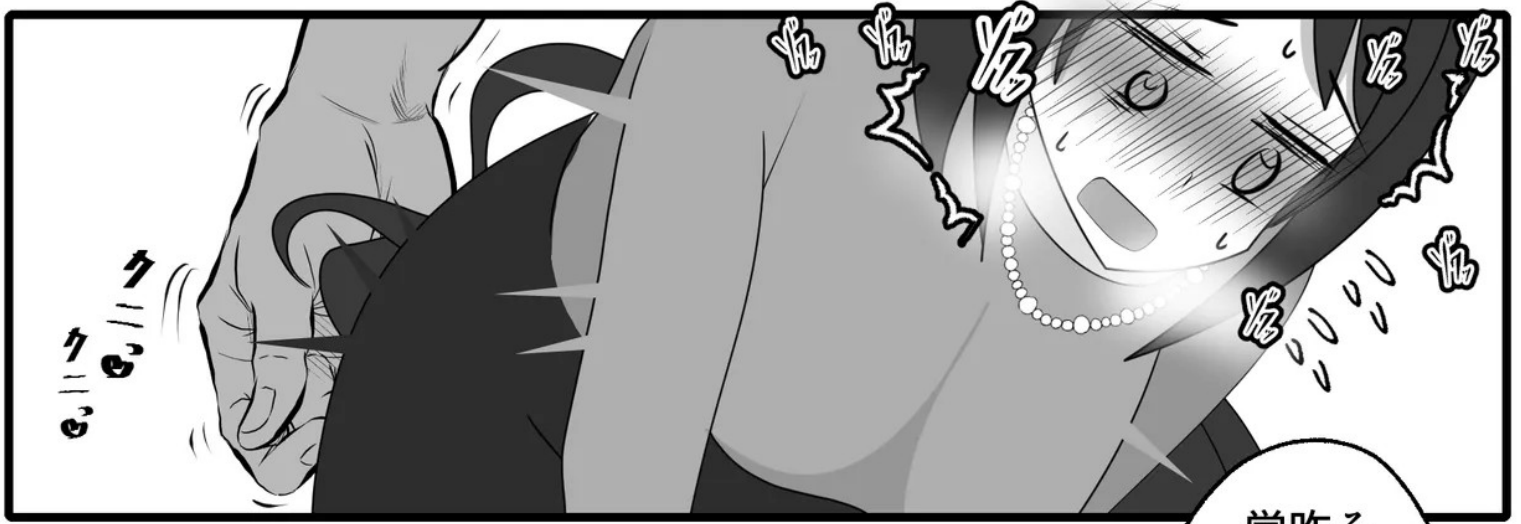
あ、○○クン……
おはよう……

あつ、ちよ、だめっ！
だめよっそんな朝から……
///

今日もえっろいからだっ
ふひっ♡してるよねっ♡♡

ううううう……
///

アッ♡
アッ♡
アッ♡



そ、そんな事言つてさあ♡
昨日の事、身体はしつかり
覚えてるんじゃないの？

この…ドスケベな
むちむちボディ♡
はさあ♡



あつ♡やだやだやだっ♡
カリカリ♡だめっ♡
ほんとだめっ♡

ほ、ほら、この濡れ方
すごいよね♡
いやらしいっ♡
たら♡



あつ♡なんかこれっ♡
へんっ♡へんっ♡

だめっ♡いくっ♡
いくっ♡いくっ♡
…っ♡



は、はひ……♡
///

ふひっ♡さあ♡
僕の部屋いこつかあ♡

クラスの奴らに見せたらびっくりするんだろな！ね、母さん！
ハメ撮りさせてよ！

だ、だめ、だめですっ♡
そんなのっ♡絶対だめっ♡

だ、だめじゃないだろおっ!?
とらせろったらとらせろお!!!

は、はひいっ♡ごめんなさっ♡いっ♡
とっていいですっ♡♡とっていいです
から怒らないでっ♡はああああ♡

バツ

パン♡

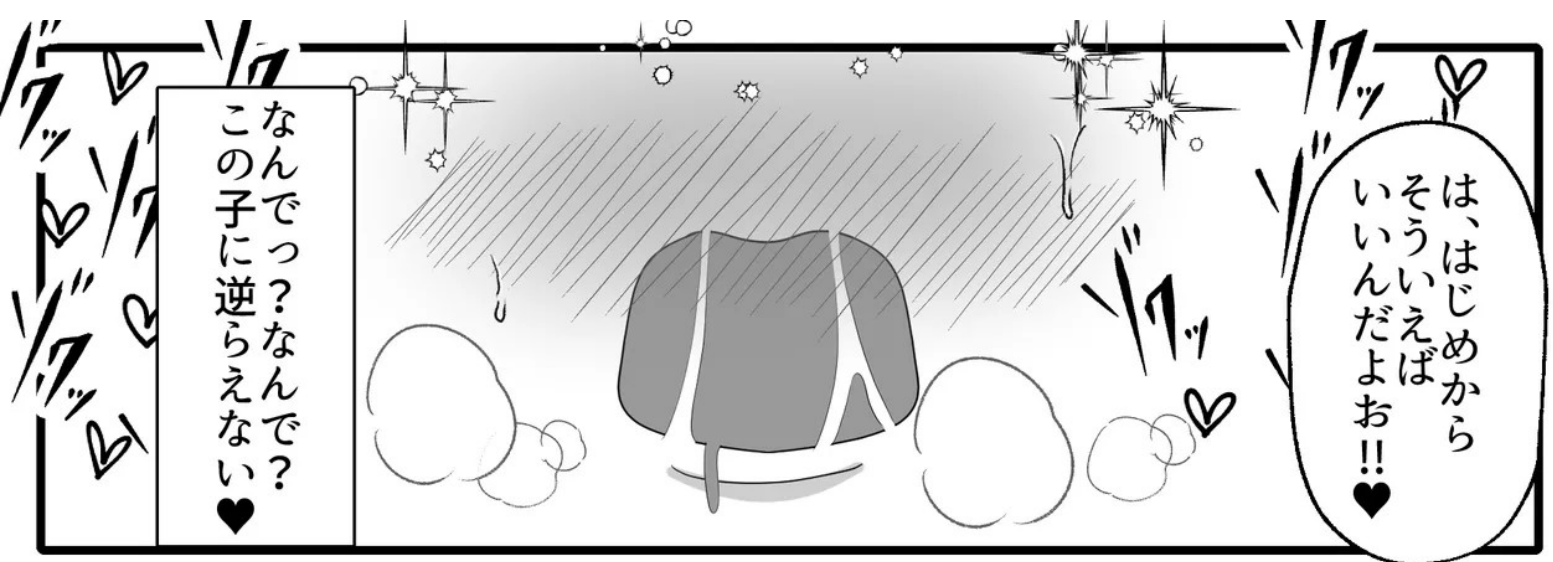
パン♡

言いつつも涙目で必死に顔を隠す母に
僕の劣情はいよいよ勢いを増していく。
これまで自分をサドだと思った事は一度もない
にしろ、この女を前にすると本能が目覚めていく
ような気がする。
このまま汚して汚して汚しまくってしまいたい。
ボロボロになるまで抱きつぶしてしまいたい。

ぎしぎしぎし、ベッドはきしむ。
父が入学祝いに買ってくれたひとつがこのベッド
だ。そのベッドの上で、父さん、あなたの妻を抱いて
います。あなたが放置していた女を僕は、いただい
ているわけです。

窓の外からは子供の笑い声がする。窓を一枚隔てた
向こうで淫靡な時間が流れている。

涙声の奥の甘い声に、母は気づいているだろうか。
押し寄せる快樂の波に抗いきれず、久方ぶりの女
の悦びを享受する自分の声を。



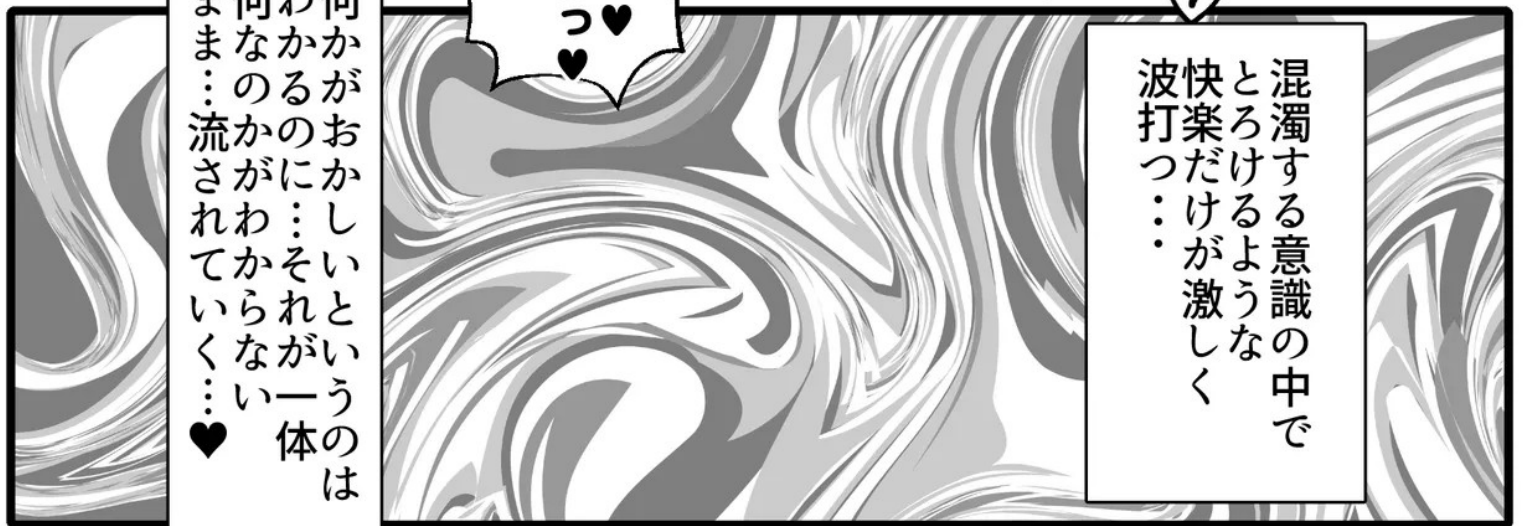
は、はじめから
そういうえば
いいんだよお!!
♡

なんでっ?なんで?
この子に逆らえない♡



いっ♡くっ♡
うっ♡くっ♡

ぞく♡くっ♡ぞく♡
いっ♡くっ♡あっ♡くっ♡
ひっ♡



混濁する意識の中で
とろけるような
快楽だけが激しく
波打つ...

何かがおかしいというの
はわかるのに...それが一体
何なのかかわからない
まま...流されていく...♡



あははっまたイって
やがるな豚!あはは!

はひっ♡くっ♡
いっ♡くっ♡またっ♡
いきますっ♡



多くの生徒は部活動に精を出す夕刻に、
僕のクラスでは陰気な生徒ばかりが
残っている。

机の上のスマートフォンに
視線がくぎ付けになる彼ら。股間は皆、一様に隆起
している。涎をたらさんばかりの情けない表情。
僕は苦笑する。女生徒にもてない訳だ。

スマートフォンからは女性の嬌声が流れている。
アダルト・ビデオにありがちな整った声質ではない。
一人の女性が、快楽に溺れている声。
自らが望む望まないにかかわらず。

画面の女性は男(僕だ)に顔を軽くはたかれて、
弱々しく笑い、ピース・サインをカメラに向ける。
悪くなったスモークベーコンのような芯のない指
先が、激しいピストンで揺れる。
顔を左右にぶんぶんと振る女。何を否定している
のか、何を否定したがつているのか。

しかしやがて
身体を細かく震わせてアクメに達する。
画面を覗く男達はつばを飲み込む。

…うーわ
すっげー

えっろ♡

だ、だから
言っただろ？
ウソじゃないって♡

へへへへ。ど、どうだいこれ
うちのお母さん♡

イキまくってるだろ？
も、もう俺の奴隷なんだよねえ♡

な、なあ、俺らにも、そのさ…

え、えー？あははは。
どうしようっかなー？

家に彼らを連れ帰った時、母はカーペットに掃除機をかけていた。顔をあげた母が彼らの姿を一目みた瞬間に、この後起こるであろう出来事を全て理解したようだった。

股間を膨らませ舌なめずりをし…女性の身体の品定めをする男達を家に連れ帰り…母は何を思うだろう。催淫剤の効果で目覚めたメスの身体は…たぎる性欲をその身に宿す彼らを見て、何を感じているのだろうか？

母の手が震えている。顔も赤みを増していて…口元がきゅっとしまる。何かを覚悟したような表情。次に顔をあげたとき、彼女はやっと言葉を口にする。無理に絞り出した日常的なあいさつ。

「いらっしやい。みんなお友達？いつも…仲良くして…くれて…」

台詞は最後まで紡がれることはなかった。母の腰を抱き、クラスメイトは二階へあがる。

「部屋、こっち？」
僕は、その身勝手な行動に嫌な予感がした。
口の中が苦くなる。

しまったな。やめておけばよかった。なんて。

おらっ♡おらっ♡
きもちいいかババア♡

てなわけでクラスの奴らに
お母さんを貸し出したわけ
なんだけど…

んひいいいっ♡
らめっ♡らめえっ♡
ゆるっ♡ひてえええっ♡

エロ過ぎるカラダ
しやがってっ♡
ボケっ♡イキ死ねっ♡

はああああ
ああゝゝっ♡♡♡

な、なんか感じ方
エグくない？



こっちのが
どれーっぽくない？

うわー
ヘンタイ♥

んごおおっ
おっおおっ♥♥♥

あははっ♥こいつも
よろこんでるっぽいよ

おらっ♥♥しねっ♥
ぽけっ♥♥

夫のそれとは全く
ちがう執念のような
ものを感じ：グラグラと
視界がゆれるのが
わかります

若い男の子達は
その限りない
性欲を私に全て
ぶつけます

おらっ♥もつと
AV女優みたい
可愛くあえいでみるよ

いやいやコレ
つけてっしよから
無理っしよ

うるせっ♥
おらっ媚びろっ♥

おっ♥♥ごおおっ
おっ♥♥おおおっ♥♥

うへー♥まんこ
めっちやしまつてる♥
にゅるっにゅるで
きもちー♥

あうっ♥いぎっ♥
だいつ♥もつと♥
いぎだいいいっ♥

ごんなせがいつ♥
しらないいつ♥

じあわせっ♥あだまつ♥
くるっ♥くるっ♥

きもちいい♥
いっばい♥なっつりゅっ♥

あいうえお♥
かきくけこ♥
さしすせそ♥
たてふとね♥
はひふへほ♥
まみむめも♥
やゆよ♥
らるる♥
ん♥

ドクドク

ドクドク

あーもうコイツ
なんでこんなに
いい匂いすんだよお♡

あなたっ♡ごめんな
さいっ♡私っ♡これ
おぢるっ♡♡♡
堕ちちゃうっ♡♡

豚のくせにいい
シャンプー使っ
て♡
んじゃねえって！♡

男の子たちの性欲処理
してっ♡生きていきたい♡
そう思っちゃうのっ♡

おらっ精液シャンプー
くらえっ♡

ばかやめろ！
くせえだろ！

っほおおっ♡

あらら喜んでる
っばいけどね♡

おぐっ♡うっ♡
うっ♡ぐうっ♡
ふううううっ♡
うっ♡♡♡♡

あ、なんかやばいトコ
きてるっばいね？♡

ははは、ぶっかけされて
深いアクメきめてやがる♡

あなたじゃっ♡
もうだめなのっ♡
もうっ♡わたっ♡
いくっ♡いくっ♡



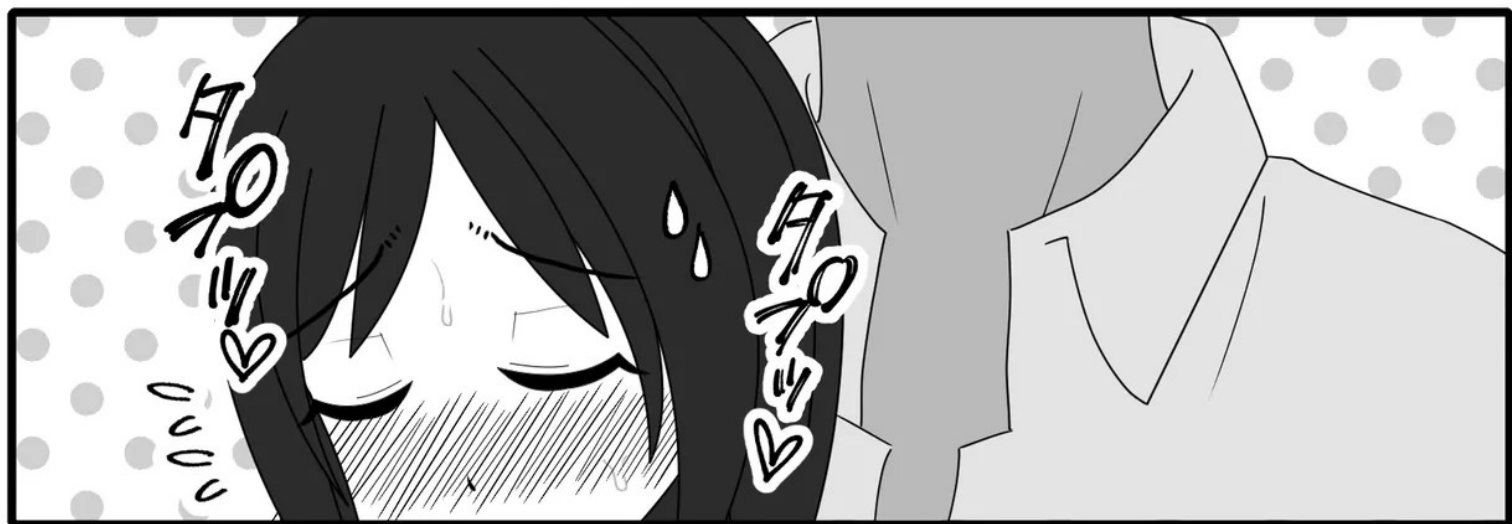
終

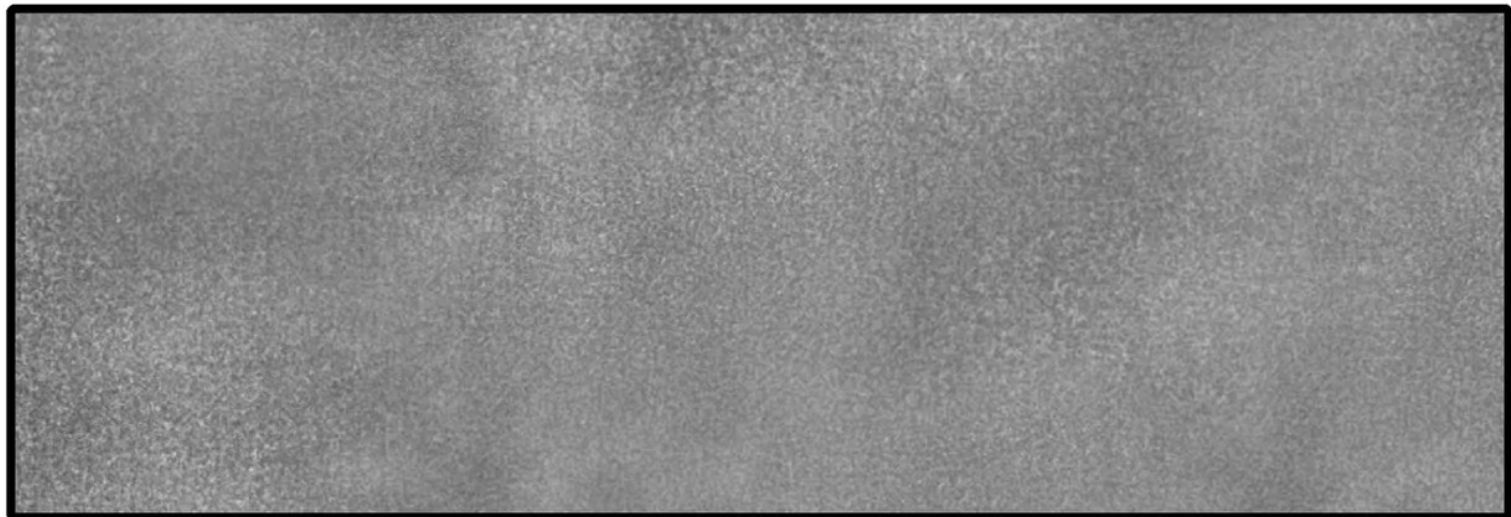
制作・著作

統計上の聖地







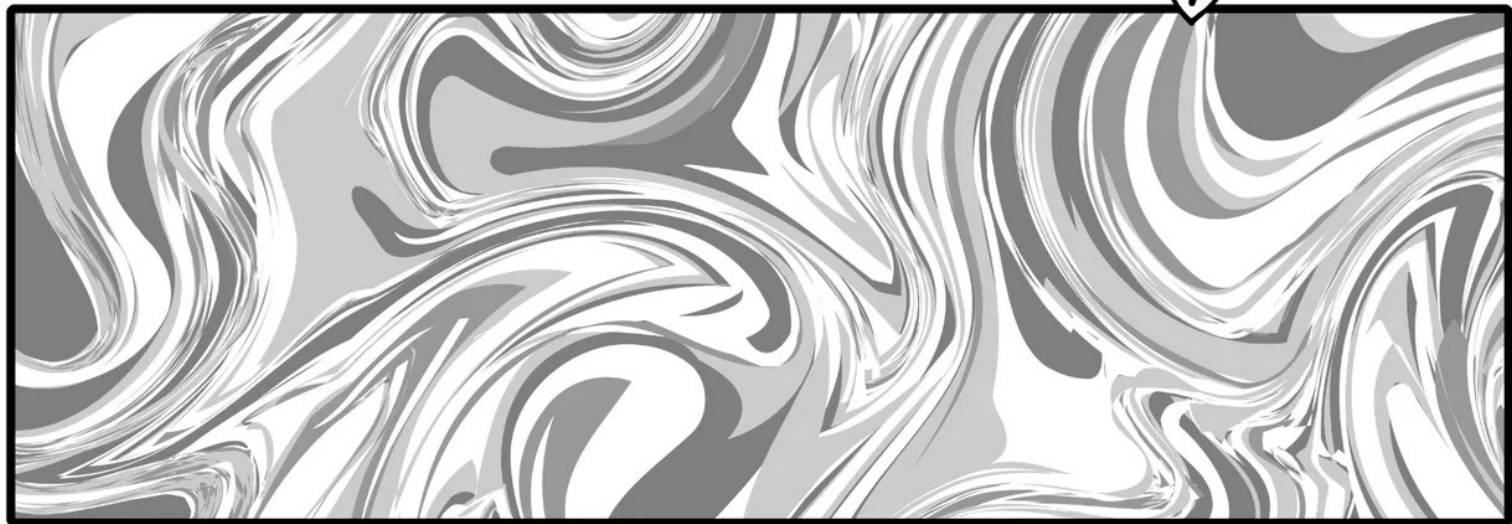
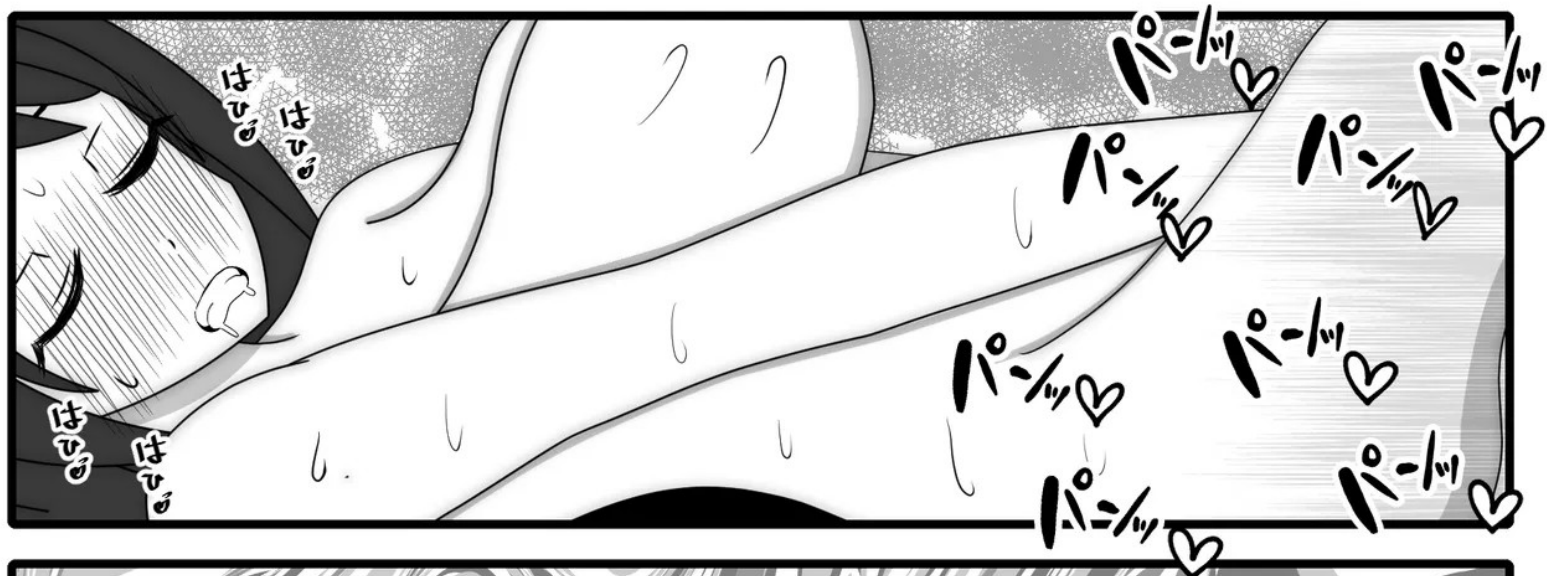
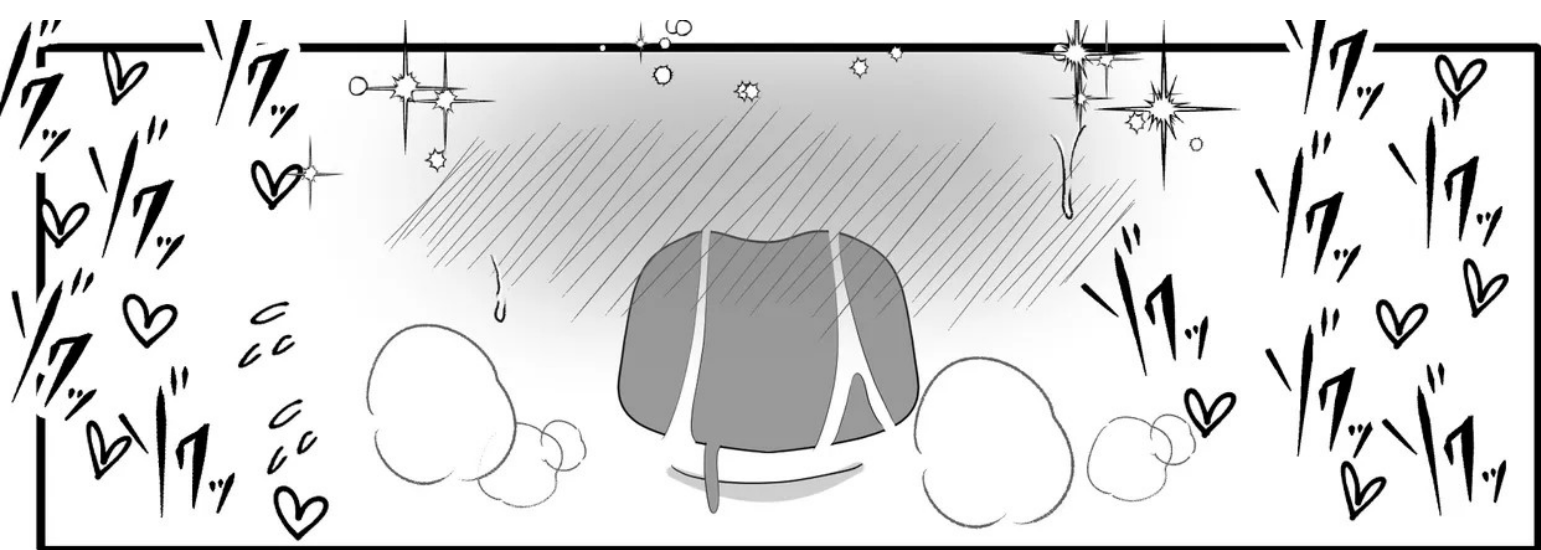










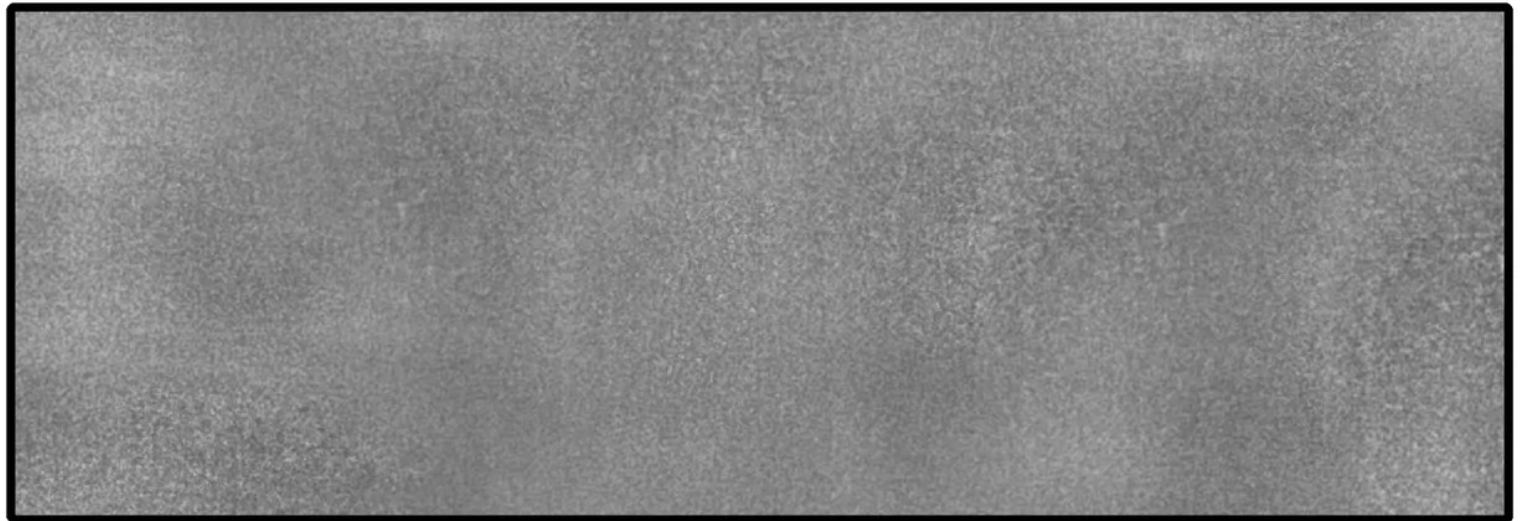


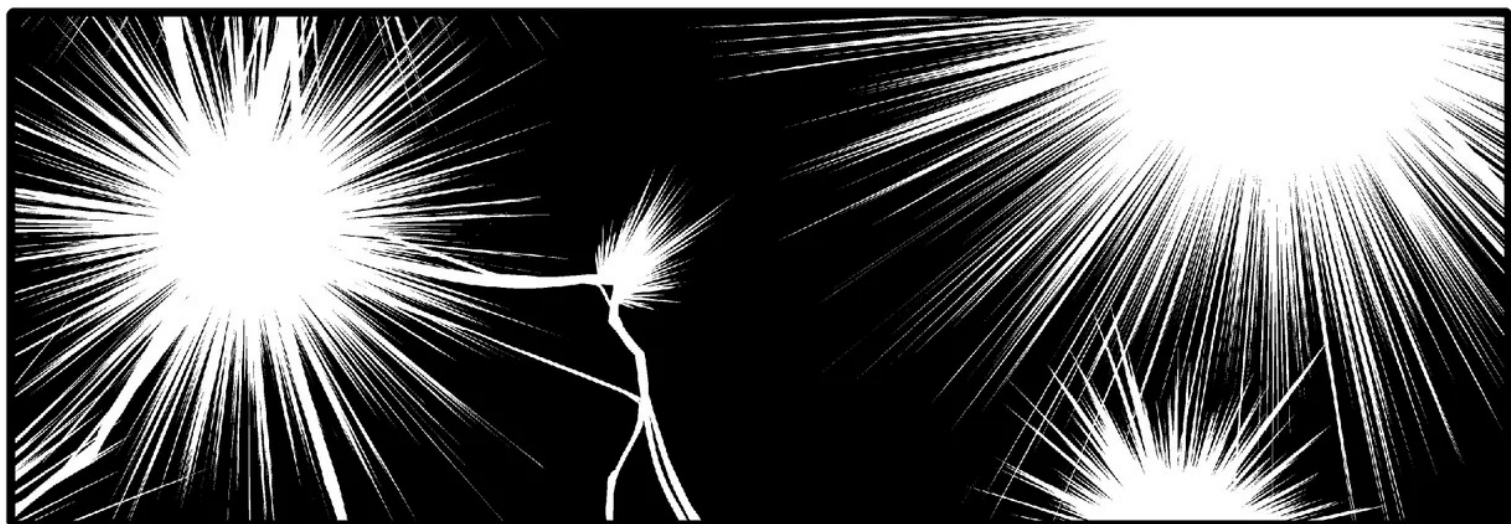
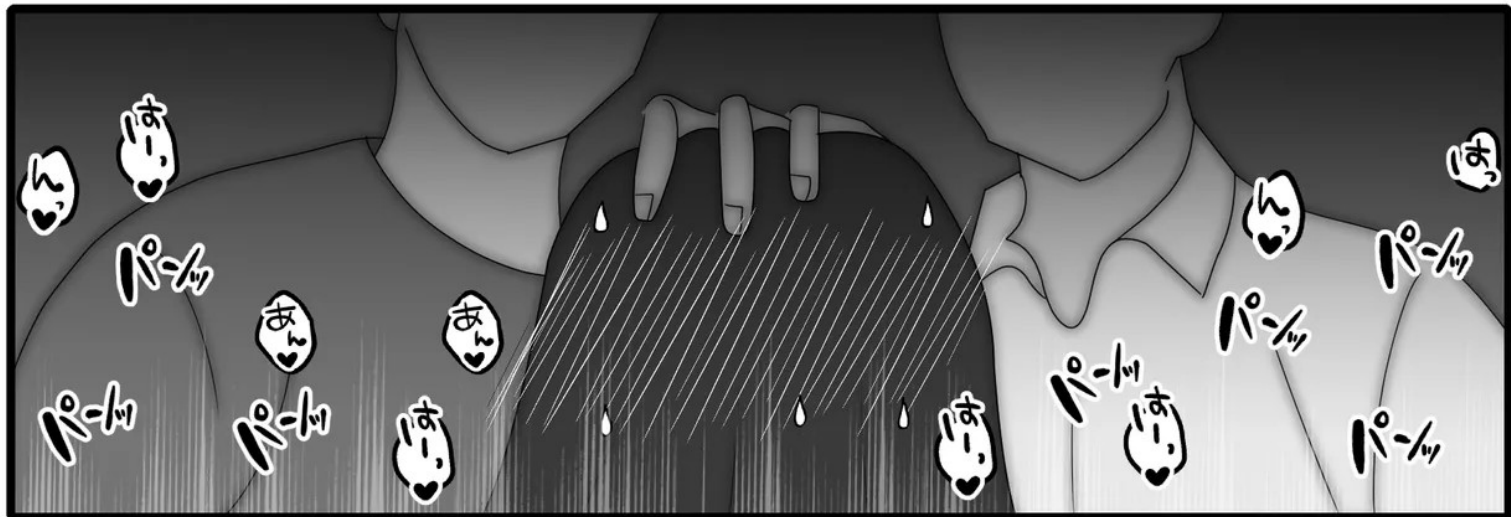




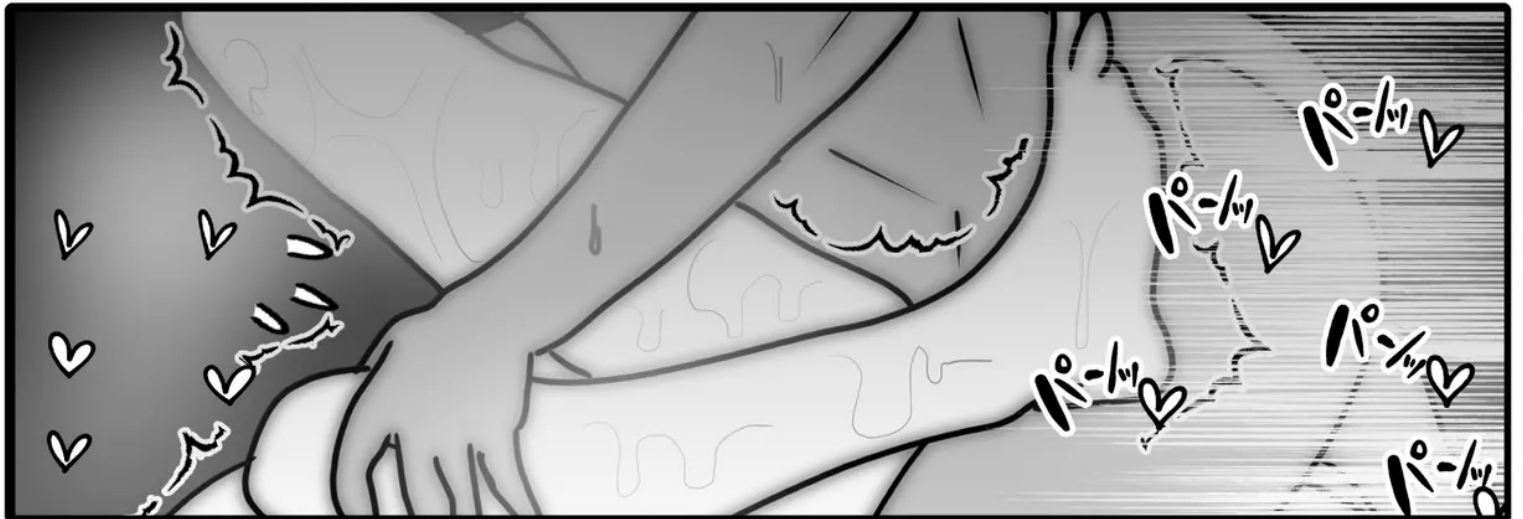
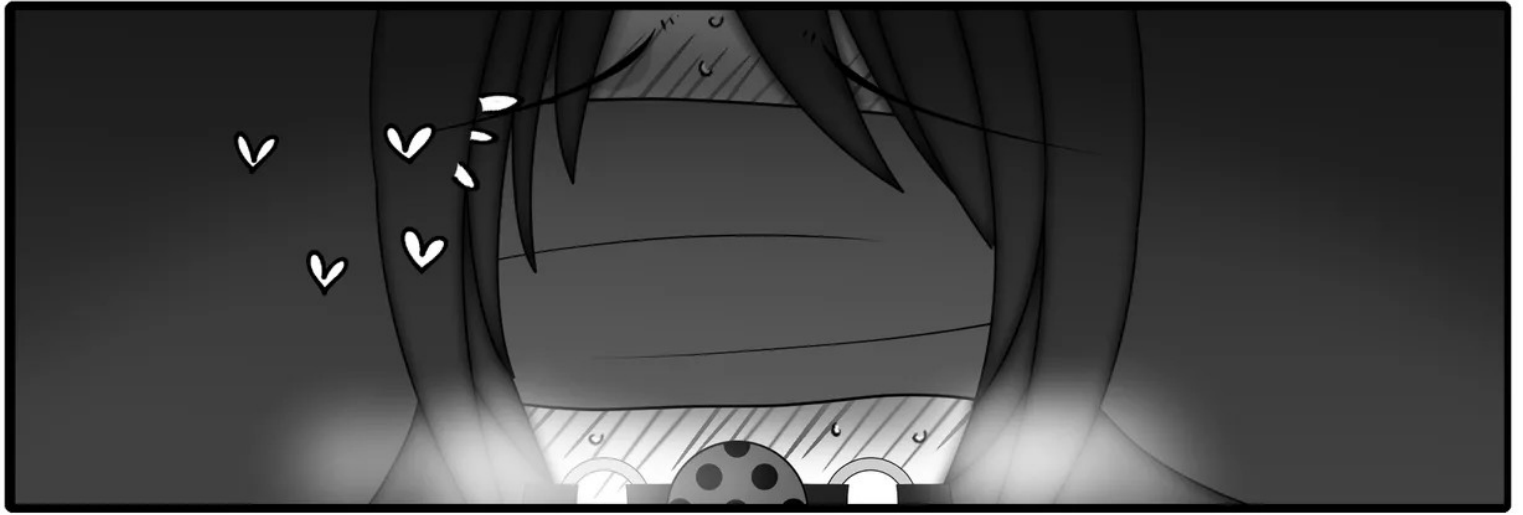




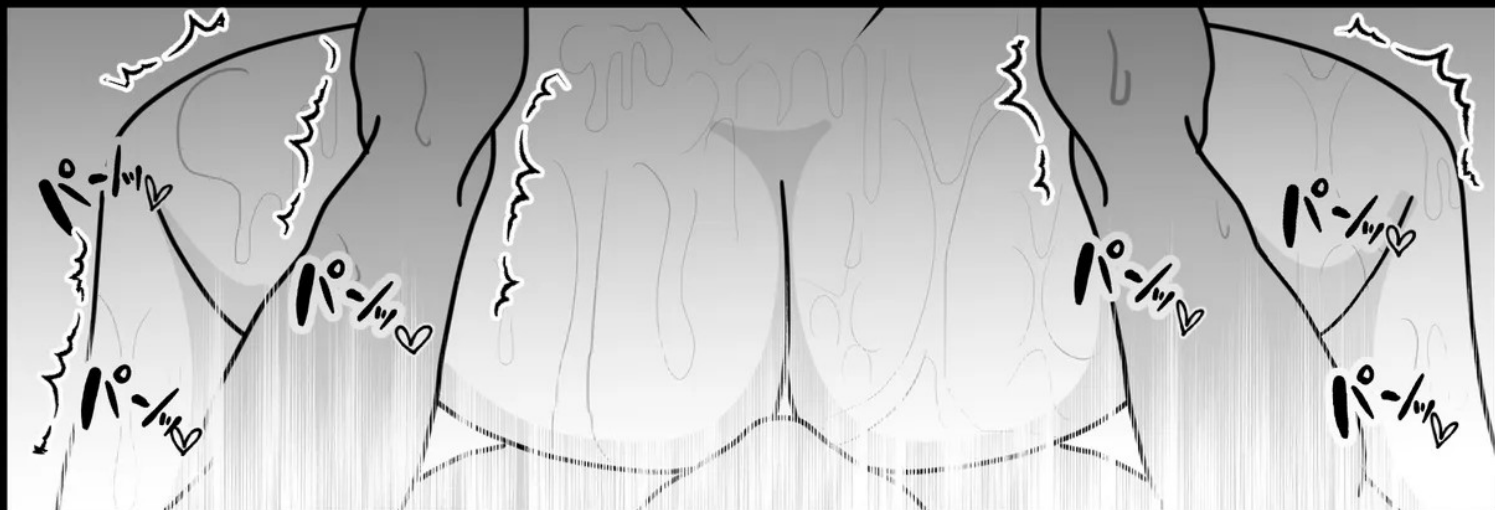
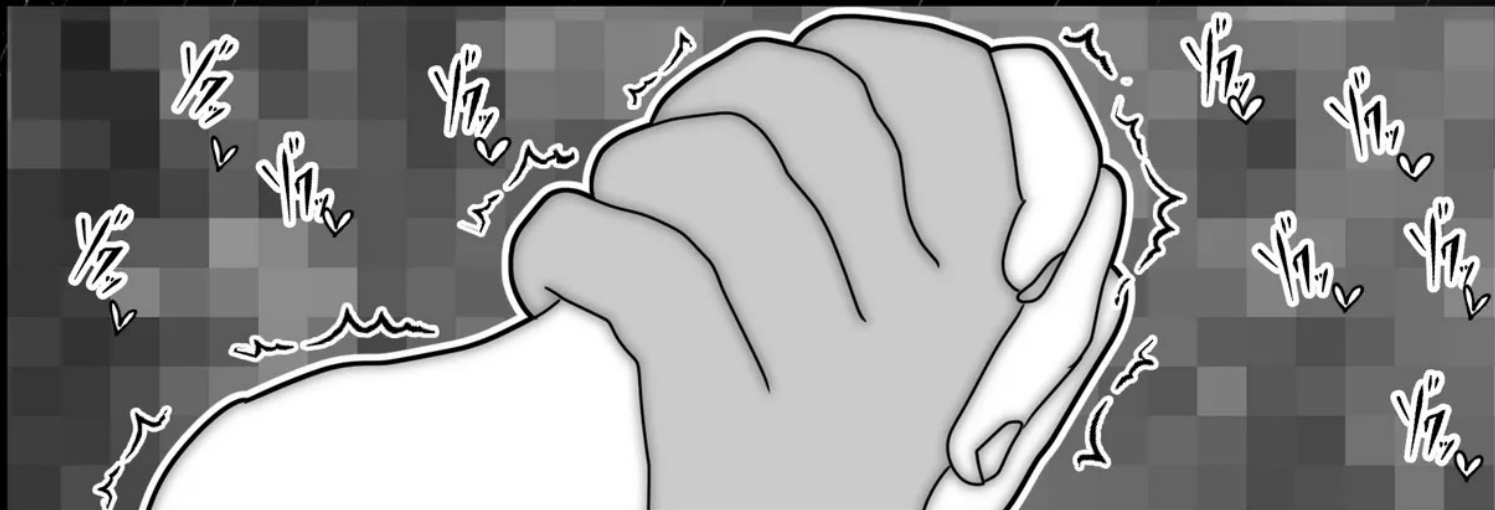














終

制作・著作

統計上の聖地